

令和 5 年度
教育委員会事務事業に係る外部評価表
(令和 4 年度事業対象)

○実施日 令和 5 年 1 1 月 2 8 日 (火) 午後 3 時

○場 所 せたな町役場 第三会議室

○外部評価委員

北檜山区北檜山 尾 野 覚

北檜山区丹羽 阿 部 紹 子

瀬棚区本町 神 田 和 浩 (欠席)

大成区宮野 梶 田 昌 好

令和5年度せたな町教育委員会(学校教育)実施事業評価一覧表(令和4年度事業対象)

総務・学校教育

事務事業（評価項目）		実施状況	自己評価（成果と課題）	外部評価委員意見	評価
					R 4
1	教育委員の活動	○委員会開催（5回）（4月1日～3月31日開催分） ○小中学校への学校訪問 全6校（6月22日・28日・29日） ○視察研修（七飯町7/12） ○全道研修会（札幌市7/14～15） ○管内研修会（函館市 中止） ○せたな町総合教育会議（R5年3月24日）	○コロナ禍により委員の研修参加の機会が失われたが、委員会での案件審議、学校訪問での意見交換など活動が円滑に行われている。 ・地域の実情に応じた教育の振興が図られている。	自己評価どおりで良い	A
2	学校経営の円滑な推進	○定例校長会議における教育長示達 ○各月毎の学校経営の重点及び学校経営報告書の提出 ○教育課程の適正な管理及び学習指導要領の趣旨を踏まえた円滑な実施のための指導・助言 ○生涯学習指導主事の学校訪問（各学期毎）	○毎月開かれる定例校長会議において、教育長示達の中で教育行政執行方針の具現化に努めていた。 ○各学校から毎月「学校経営報告書」、各学期末には「学校運営に係る自己点検票」、学年末には「教育執行方針達成度調査」の提出を求め、各校の実践事項や実情の把握に努めることができた。 ○教職員の服務規律等の厳守については、定例校長会議・教頭会議の中で資料を用いて指導が図られた。 ○町生涯学習指導主事の学校訪問は、各学期毎の定期訪問（計18回）、教育局指導監訪問・教育局指導主事訪問（計15回、Zoom1回）、必要に応じて随時実施し、各校の学校経営・学習指導・生徒指導等に関わる指導・助言を行うことができた。 ○学習指導要領・中教審答申の趣旨を踏まえ、円滑な実施のための指導・助言。 ・小学校（2020年）中学校（2021年）では、新学習指導要領が全面実施となり、各校で趣旨を踏まえた取り組みがされている。 ・新学習指導要領の趣旨を踏まえ、円滑な実施のための指導・助言。 ・教職員の服務規律指導のさらなる徹底に努める。	自己評価どおりで良い	A

3	学力の向上対策	○全国学力・学習状況調査（自校）及び町独自に標準学力検査を実施 ○「せたな町学力向上改善プラン」に基づく学習指導の改善 ○学校図書室支援員の配置による学校図書室の有効活用の支援 ○家庭と連携した家庭学習の習慣化について、各学校での取り組み推進に向けての指導・助言 ○ＩＣＴ機器の活用による授業改善に向けた環境整備（一人一台端末の配置） ○チャレンジテストへの全校参加と学力向上に向けた活用 ○学習支援員の配置	○全国学力・学習状況調査については、実施後自校で、採点結果を分析し日常の学習指導や各学校の「学力向上改善プラン」作成に生かした。 ○各学校においては、全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、教育委員会作成の「せたな町学力向上改善プラン」をもとに学校独自の「学力向上改善プラン」を作成し、学習指導等の改善に取り組んだ。また、年度末に標準学力検査を実施し、学力の達成状況を把握した。 ○各校では、朝読書の時間をつくり、廊下・教室に図書を配置するなど、児童生徒の読書活動の習慣化に努めた。また、学校図書室支援員を活用し、学校図書室の環境が整備され読書活動が活発になってきた。 ○各学校でＩＣＴを活用した授業が適切に行われ、児童生徒の学習意欲が高まっている。また、各小学校においては、学習指導要領改訂により必修化されたプログラミング教育の授業が行われ論理的思考力を身につけるための取り組みが行われた。 オンラインによる学習も適切に実施している。 ・令和４年度全国学力・学習状況調査から、小学校では、国語・算数・理科とも全国・全道平均を上回っており中学校では、国語・理科は全国・全道平均以上、数学は全国・全道平均を下回る結果となった。 各学校では、それぞれ採点結果を分析し、課題を明確にした上で、学力向上プランに基づき、授業改善や家庭学習の充実に向けた取り組みが行われている。 ・全国学力・学習状況調査等の結果に基づいた学力向上プラン作成と児童・生徒が学習することに意味を感じられる授業改善の実施。家庭と連携した学習習慣定着の取組の推進。	自己評価どおりで良い	A
4	道徳教育の推進	○「考え、議論する道徳」に向けた授業の工夫改善・充実への指導・助言 ○道徳科の教科書、北海道版道徳教材「きたものがたり」の活用に向けての指導・助言	○北海道版道徳教材「きたものがたり」を活用した「道徳科」の授業の改善・充実については、日常実践及び校内研修等で取り組みがされている。 ○参観日等における「道徳科」の授業公開については、	自己評価どおりで良い	A

		○参観日等における「道徳科」の授業公開を実施	年間計画に位置付けられ、道徳授業を実際に保護者へ理解してもらうと共に、学校と家庭の連携した取り組みが進められた。 ・「道徳科」の年間計画が児童生徒の実践に応じて編成されるとともに、道徳教育推進教師を中心に、校内研修（評価の仕方等）が行われ、道徳科授業の充実を目指している。中学校では、担任だけでなく学年部の教職員もまた道徳の授業を実施し、奥行きのあるものとなっている。 ・自他との関係を良好に保つことと、自己実現を図ることの両立を目指し「考え、議論する道徳」の授業を一層充実させる。		
5	特別支援教育の推進	○特別支援教育連携協議会の年3回の開催と連携協議会だよりの発刊 ○「個別の教育支援計画及び個別指導計画」の作成 ○「特別支援教育支援員」の配置 ○WISC IV研修会の実施(8月)	○特別支援教育連携協議会を年3回開催し、教育・福祉・行政等の関係機関が連携し、実態把握・情報交換を行うとともに、連携協議会だよりを年3回発刊し、保護者・地域への啓発活動を行った。 ○就学前の幼児を対象にした就学児知能検査、2次検査、保護者への通知、必要に応じての保護者との面談、教育支援委員会での審議の流れが適切に行われた。 ○当該学校では、特別支援学級在籍者を中心に、長期的支援を見据え「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」の作成が定着している。 ○特別支援教育支援員は、町内6校に計13名が配置され、特別な支援を要する児童生徒の生活・学習支援を行い、児童生徒のつまづきなどに随時対応することができた。(北檜山小学校6名・瀬棚小学校2名・久遠小学校1名・大成中学校1名・瀬棚中学校1名・北檜山中学校2名)計13名 ○就学時の2次検査の検査者を町内の学校の教員の中から確保するため、今金高等養護学校の教員を講師にWISC IV研修会を実施し、就学児の2次検査を適切に進めることができ、教育支援委員会につなげることができた。	自己評価どおりで良い	A

			・特別支援教育連携協議会をとおして、幼・保・小・中・高・養護学校と福祉等の行政機関が連携することで、情報交換、啓発活動などが綿密に行われ、町内の特別支援教育が適切に行われている。 ・各学校・家庭において、特別支援教育支援員の配置要望が多くなっていることから、予算措置や人員確保などの他、2次検査の検査者の確保・育成に努める。 また、WISC 検査の結果を判断基準とするのではなく、保育施設・学校と連携を密にし、普段の様子から支援が必要かどうか判断できる体制づくりに努める。		
6	外国語指導助手（ALT）等の派遣	○外国語指導助手 各小学校（5・6年） 週4回派遣 （月…北小、瀬小 火…久小 水…瀬小、北小金…久遠小） ○外国語指導助手 各中学校 週3回派遣 （月…瀬中 火…大中 木…北中） ○英語指導助手 各小学校（3・4年） 週3回派遣 （月…瀬小 火…久小 水…北小）	○小学校3校の3～4年には英語指導助手、5～6年生及び中学生には外国語指導助手を派遣し、英語に関する関心や語学力の向上が図られた。 ○ALTの空き時間を活用して希望する学校や認定こども園に追加派遣し、英語に触れる機会やコミュニケーション能力の育成に努めた結果、指導を受けた生徒が英語暗唱大会の全道大会へ出場することができた。 ・英語に触れる機会があることで、児童の学習意欲が高まっている。また、小学校で令和2年度から始まった外国語科の指導に向けて、授業力・英語力の向上に努めることができた。 ALTが2人と英語指導助手1人の3人体制での派遣が2年ぶりに実施することができました。 ・子どもたちの外国語を使ったコミュニケーション能力を育成するための外国語活動以外でのALTの活用。	自己評価どおりで良い	A

7	生徒指導の充実	○各学校での全教職員による生徒指導体制の確立 ○道教委のスクールカウンセラー派遣 (拠点校：北檜山中学校・年7日、派遣校：6校・各年1日) ○町教委のスクールアドバイザー派遣 ○生涯学習指導主事への相談(学校訪問及び随時)	○各学校においては、いじめ未然防止基本方針をもとに、管理職を中心に組織的な対応が進められた。 ○いじめ対策については、全校で年間最低2回の「いじめアンケート」や教育相談が実施され、未然防止・早期発見・早期対応の取り組みが行われた。 ○今年度の「いじめアンケート」から、「嫌な思いをしたことがある」の回答があった件に関しては、聴き取りや適切な指導を行っており、いじめとしての認知は件確認された。 ○北檜山中学校へ道教委のスクールカウンセラー派遣を継続し、学校と連携して不登校生徒の対応に当たった。 ○町独自のスクールアドバイザーを配置し、学校と連携して不登校生徒・その保護者や指導上の悩みを抱える教職員の対応に当たった。 ○今年度の不登校児童生徒数は、13名(小学校8名、中学校5名)で継続した指導支援が必要である。 ※学校と連携を図り、週1回の適応指導教室「陽だまり」で学習の援助をする。 ○町教委としては、不登校児童生徒の状況について毎月報告を求め、実態把握に努めるとともに、町指導主事やスクールアドバイザーが必要に応じて各校を訪れ、いじめ・不登校についての情報収集や対応等について指導助言を行った。 ・校内で生徒指導に関する研修会等を開催し、教職員同士の情報を共有し、共通理解を図っている。また、月例の校長会や生涯学習指導主事やスクールアドバイザーへの相談を通して町教委との連携を図っている。 ・不登校児童生徒の解消に努める。	自己評価どおりで良い	B
8	教職員の資質能力の向上	○各学校における校内研修の促進 (檜山教育局指導主事及び町指導主事による学校指導訪問) ○せたな町教育研究会の充実 ・サークル活動の	○各学校では、研修部を中心に研修計画が立てられ、それに沿って校内研修が推進されていた。 ○教育局指導主事及び町指導主事による学校指導訪問は、予定どおり進められ、各校の経営状況や児童生徒の	自己評価どおりで良い	B

		活発化（※新型コロナウイルス感染症拡大により、前年度に引き続き今金町との2町合同授業交流会は中止【次年度へ延期】） ○町内各種教育団体への支援 （生徒指導連絡協議会、特別支援学級教育研究会、へき地複式教育研究会等） ○北海道教育研究所、檜山教育局主催の研修講座への参加 ○道教委指定事業「授業改善推進チーム活用事業」実施（3年目）（北檜山小・今金小）	実態把握、その後の指導・助言に大いに役立った。 ○町教育研究会及び町内各種教育団体の活動は、予定どおり活発に行われ、教職員の資質・能力向上に寄与した。 ○各種研修事業については道教研、健康教育推進研修会、大学院派遣研修などに参加している。 ○コロナ禍により、各種研修会等の参加の機会が失われたが、リモート対応でサークル活動等の対応ができた。 ○授業改善推進チーム事業の推進にあたり北檜山小・今金小両校の推進教員2名と一緒に授業をすることを通して、授業改善に取り組むことができた。 ・コロナ禍により制限された中で開催された研修もあったが、リモート会議等により教職員の資質・能力の向上に努め、各学校の授業改善に役立てた。 また、授業改善推進チーム活用事業の取組の成果を町内の学校に還元することができた。 ・研修へのさらなる参加を促す。新しい研修機会の拡充と支援。		
9	食育教育の推進	○「栄養教諭による食育推進事業」 学校栄養教諭による各学校における「食に関する指導」及び「栄養指導」の実施 ○職場体験学習実習生の受け入れ ○学校給食だよりの発行（毎月） ○安心安全な地元食材の活用 ○せたな産食材を使用した「ふるさと給食」の提供 ○アレルギー児童生徒の把握と必要に応じた対応	○町内小中学校において、栄養教諭による学年に応じた食習慣等に関する実践的な指導食を実施し、児童生徒の食に対する意識を高めることができた。 ○給食だよりの発行により保護者に知ってもらいたい情報を盛り込み、家庭への食の大切さの啓発や連携を図ることができた。 ○年2回せたな産給食の日を設け、「ふるさと給食」として地元食材を使用した給食を提供し、地域産業への関心と生産者への感謝の心を育むことができた。 ○給食センターと学校が連携して、食物アレルギーをもった児童生徒の情報を共有し、給食における事故の未然防止を図ることができた。 ・食育の推進を図ることができた。 ・安心安全な給食の提供に努め、学校と連携を図りながら食育の推進に務めていく。	自己評価どおりで良い	A

1 0	幼児教育の充実	○特別支援教育についての研修会や共通理解に基づいたきめ細かな指導の工夫 ○幼児教育と小学校教育の共通性や独自性を明確にした相互の連携や研修等の促進	○特別支援教育連携協議会をととして、情報交換・啓発活動等が綿密に行われている。 ○各小学校で新入児童 1 日体験入学の実施。(瀬棚小学校・久遠小学校)・北檜山小学校については、コロナ禍により保護者説明会に変更 ○交流学习については、北檜山小学校を除いて実施。(学芸会総練習の見学。年に数回、小学校へ出向いての交流。) ・各小学校で新入学児童 1 日体験入学を実施し、交流学习についても実施された。また、特別支援教育連携協議会をととして、情報交換・啓発活動等が綿密に行われた。 ・引き続き、認定こども園や保育所(園)との連携を図る。	自己評価どおりで良い	A
1 1	学校健診事業の充実	○児童生徒内科検診 358 名実施 ○児童生徒歯科検診 369 名実施 ○児童生徒尿検査 371 名実施 ○児童生徒心臓(心電図)検診 67 名実施 ○児童生徒眼科検診 353 名実施 ○児童生徒耳鼻咽喉科検診 184 名実施 ○中体連駅伝選手心臓検診 実施なし ○就学時検診 26 名実施	学校と関係機関との連携の下で、学校保健法に定められている各種健診を計画的に実施し児童生徒の健康管理に努めることができた。 児童生徒が内科・歯科検診を欠席した際に、保護者が病院・診療所へ直接連れて行くことで対応することができた。 ・各種健診を計画的に実施出来ている。児童生徒が内科・歯科検診を欠席した際の対応をすることができた。 ・スムーズに検診を実施できるよう、学校・病院・教委で連絡を密にする。	自己評価どおりで良い	A
1 2	地域に開かれた学校づくりの推進	○経営方針の説明、学校だよりの配布 ○学校支援地域ボランティアの人材を外部講師として招聘 ○学校運営協議会(瀬棚小、北檜山小、瀬棚中、北檜山中、久遠小・大成中は合同設置。)	○各校では、年度当初の参観日等で経営方針の説明を行うとともに、学校だより等で日常の児童生徒の様子を保護者や地域に知ってもらえるよう努めた。 ○学校からの情報提供はよくなされており、委員からの意見も取り入れることが出来た。 ○学校支援地域ボランティアについても、各校の計画に沿って積極的に活用された。 ・全学校に学校運営協議会が設置され、地域と連携し学校運営に取り組んでいる。 ・学校運営協議会等の意見を取り入れた特色ある学校運	自己評価どおりで良い	A

			営の指導・支援。		
1 3	子どもの安全確保	○各学校での「危機管理マニュアル」及び「火災や地震時の防災訓練」の点検・見直し、及び学校の立地条件に応じた火災・地震・津波・洪水などの実践的な対処や訓練の実施に向けての指導・助言 ○交通安全教室・防犯教室・薬物乱用防止教室等の実施に向けての指導・助言 ○各区毎に地域の関係機関・団体との情報交換を行い、町内安全パトロール実施 （生徒指導連絡協議会～各学校の決まり確認、子どもの様子等の情報交流） ○せたな町通学路安全推進協議会を設置し、「通学路交通安全プログラム」を作成。プログラムに基づいた、町内各学校の通学路の確認・点検・改善 ○各小中学校における1日防災学校の実施	○各学校における「危機管理マニュアル」の点検と見直しが行われ、災害時における立地条件に即した対処・訓練が行われた。 ○各学校では、防犯訓練・防犯教室など実際の場面に即した訓練を実施することで危機管理下における児童生徒の安全確保が図られた。 ○各区内の関係機関・団体と連携しながら、登下校時や帰宅後の安全指導を実施した。 ○町内5小中学校において関係機関と連携した「1日防災学校」を実施し、児童・生徒の防災意識の向上が図られた。 ・今年度は、町内小中学校6校が「1日防災学校」を実施し、昨年度からの課題であった全校実施を達成した。次年度も全校で1日防災学校を実施し、児童生徒に対する防災教育が推進を図る。 ・平成29年度に実施した通学路合同点検により大成区の道道北檜山大成線について、道路幅が狭く歩道がないため車との接触の危険がある箇所があるため、その改善に向けて道路管理者（北海道）が地権者と交渉中である。	自己評価どおりで良い	A
1 4	児童生徒への就学援助	○要保護世帯 【小学生】 0名 【中学生】 3名 計 2名 ○準要保護世帯 【小学生】 30名 【中学生】 20名 計 50名 入学前新入学児童生徒学用品費 ○準要保護世帯 【小学生】 7名 【中学生】 11名 計 18名	○学校と連携のもとで、経済的援助を必要とする世帯に対して学用品費・修学旅行費等への支援ができた。	自己評価どおりで良い	A

15	学校教育環境の整備充実	主な修繕内容 ○北檜山小学校遊具更新工事 1,804 千円 ・遊具点検により使用禁止となっていたブランコを更新した。 ○久遠小学校外壁改修工事 10,450 千円 ・外壁の一部が落下し、部分改修も検討したが築44年経過しており振動等で再び落下する恐れもあることから、吹付塗装による改修を実施した。 ○瀬棚中学校体育館外壁等改修工事 7,425 千円 ・体育館外壁・連絡通路の屋根の錆や腐食が広がっており雨水が侵入していたことから、改修を実施した。 ○大成中学校体育館暖房機購入 1,117 千円 ・令和3年に暖房機器故障したことから、赤外線暖房機2台、石油暖房機3台を購入した。	○老朽化が進んでいる学校はあるが、児童生徒が安全安心な学校生活を送るため、必要箇所の修繕については随時実施し適正な維持管理に努めた。 ・改修等を行い学校施設の適正な維持管理に努めることができた。 ・老朽化した校舎や教員住宅の改修等を実施し、引き続き適正な維持管理に努める。各学校のエアコン設置について、計画的に進める。	自己評価どおりで良い	B
16	教育の情報化の推進	○せたな町学習用端末検討委員会 ① ICT活用研修会 講師 大成中学校教諭 北川正彦 「Office365と連携させたTeamsの基本的操作法」 ② ICT活用研修会 講師 北檜山小学校教諭 本谷弘之 「プログラミング教育について」 ※授業中でICTを全ての場面で使いこなさなければならないなど、ICT活用を難しく考えている教職員や、これまでの授業スタイルにICT活用を取り入れるメリットを感じていない教職員に対して、手軽な活用方法や活用効果が実感できる研修を実施。 ○GIGAスクール端末購入 ・これまで各小学校と大成中学校にのみ配備されていた1人1台端末を瀬棚中学校、北檜山中学校へ配備したことにより、全児童生徒に1人1台端	○情報機器を活用した授業の工夫・改善が図られた。 ○ICTを活用したことにより児童生徒の授業への集中がみられる。 ○オンライン交流授業などの実施によるICTの活用が図られた。 ・ICT機器の導入により、教職員に対しての研修会を実施するなど指導力の向上が図られた。 ・サーバーの経年劣化によりサーバーリプレイスが必要な時期にきている。 ・1人1台端末の活用に係る教員のICT活用指導力の向上	自己評価どおりで良い	A

		末が配備された。 ○AI ドリル導入 ・久遠小学校において、株式会社コンパスの AI ドリルを導入したことにより、児童の学習状況や理解度の管理が容易になった。※令和 5 年度から全校導入																																																			
1 7	フッ化物洗口事業の推進	○各学校で保護者より実施についての承諾を得られた児童・生徒に対して行った。 ※R5 年 3 月現在 合計 335 名（実施率 86.1%） 【内訳】 ・小学校 <table><tr><td></td><td>生徒数</td><td>実施</td><td>未実施</td></tr><tr><td>久遠小</td><td>18</td><td>15</td><td>3</td></tr><tr><td>瀬棚小</td><td>34</td><td>29</td><td>5</td></tr><tr><td>北檜山小</td><td>180</td><td>167</td><td>13</td></tr><tr><td>合計</td><td>232</td><td>211</td><td>21</td></tr><tr><td>実施率</td><td>90.9%</td><td></td><td></td></tr></table> ・中学校 <table><tr><td></td><td>生徒数</td><td>実施</td><td>未実施</td></tr><tr><td>大成中</td><td>24</td><td>13</td><td>9</td></tr><tr><td>瀬棚中</td><td>23</td><td>14</td><td>9</td></tr><tr><td>北檜山中</td><td>87</td><td>80</td><td>7</td></tr><tr><td>合計</td><td>134</td><td>107</td><td>25</td></tr><tr><td>実施率</td><td>79.9%</td><td></td><td></td></tr></table>		生徒数	実施	未実施	久遠小	18	15	3	瀬棚小	34	29	5	北檜山小	180	167	13	合計	232	211	21	実施率	90.9%				生徒数	実施	未実施	大成中	24	13	9	瀬棚中	23	14	9	北檜山中	87	80	7	合計	134	107	25	実施率	79.9%			○実施している児童・生徒の歯・口腔の健康増進につながり、特に小学校では実施率 90%越えを達成できた。 ○新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、各学校実施することができた。 ・未実施となっている児童生徒の保護者への啓発を行いながら、今後も継続して実施する。 ・未実施となっている保護者への啓発について検討が必要	自己評価どおりで良い	A
	生徒数	実施	未実施																																																		
久遠小	18	15	3																																																		
瀬棚小	34	29	5																																																		
北檜山小	180	167	13																																																		
合計	232	211	21																																																		
実施率	90.9%																																																				
	生徒数	実施	未実施																																																		
大成中	24	13	9																																																		
瀬棚中	23	14	9																																																		
北檜山中	87	80	7																																																		
合計	134	107	25																																																		
実施率	79.9%																																																				
(評価指標) A 十分達成されている B おおむね達成されている C やや不十分である D 不十分である																																																					

令和 5 年度せたな町教育委員会(社会教育・体育振興)実施事業評価一覧表(令和 4 年度事業対象)

社会教育・体育振興

推進項目 (事業名)		事業の目的 (目標)	実施状況	自己評価(成果と課題)	外部評価委員意見	評価
						R4
18	幼児教育	関係機関や団体等との連携・協力による学びの場の提供	①ブックスタート事業(月1回) ・3カ月・4カ月健診時 対象者26人 ※読み聞かせに関してはコロナ禍で中止 ②ブックスタートボランティア交流研修会 ・3/22開催 15人参加	・保健福祉課と連携し26名の乳幼児にブックスタートパックを配布できた。 ・研修会では道立図書館の配信支援事業を活用し、ブックトークの実践を学び、本を介した人とのコミュニケーションについて実践を交えながら学ぶことができた。 ・コロナ禍の状況を考慮しながらボランティアによるブックスタートパックの受け渡しや読み聞かせを実施できた。また、道立図書館の支援事業を活用した研修会を実施しボランティアの育成が図られた。 ・さらに充実を図るため新規ボランティアの確保が必要である。	自己評価どおりで良い	A
19	青少年教育①	自然体験活動や集団活動などの学習機会の提供	①自然体験活動の実施 ・7/30 自然体験事業(野外炊事・創作体験) ネイバル森 小学3年生以上5名 ②ふるさと学習の実施 ・8/30 森の自然観察 久遠小学校5～6年生 ・9/6 森の自然観察 北檜山小学校2年生 ③放課後休日体験の実施 ・5/25～3/8 少年少女英会話教室(28回)25人 ・12/16 ICT教育推進事業【新規】 附属函館中と大成中が zoom を活用して交流し、地域学習発表会を開催 ・1月上旬 冬休み体験講座【中止】	・自然体験事業で野外炊事を取り入れた事業を行うことができた。また、ICTを活用することで、町外学校との交流を行うことができた。 ・既存事業のほか附属函館中学校と連携した新規事業にも取り組めた。 ・当初は函館の大学生を活用した事業を検討していたことから、大学生を活用した事業の展開が必要である。	自己評価どおりで良い	B
20	青少年教育②	世代間交流や交流活動	①ボランティアの活用 ・6/17 道徳推進事業(進路・生き方講話) 大成中学校3年生 ・7/1 農場見学会(瀬棚区東大里・横山農園) 瀬棚小学校5～6年生	・地域住民の協力によりさまざまな学校支援事業が実施できた。 ・講師謝礼の増額で支援体制を充実することができた。 ・今後も講師謝礼などニーズにあわせ支援体制の整備を進める必要がある。	自己評価どおりで良い	A

			・7/5 自然観察会（瀬棚区東大里・横山農園） 瀬棚小学校 1～2 年生 ・5/24～11/11 稲作体験（丹羽地区等・5 回） 北檜山小学校 3 年生 ・12/6～12/13 柔道授業指導（3 回）瀬棚中学校 ・1/26 家庭科授業（地域伝統料理体験・JA 女性部）瀬棚中学校 ・1/18、2/8 農業学習（畑作・稲作・北檜山農協）北檜山小学校 3 年生 ・1/20～2/17 スキー指導（17 回）北檜山小学校 ・1/23～2/10 スキー指導（5 回）瀬棚小学校 ②ジュニアリーダーの育成 ・7/28～8/1 北海道青少年フロンティアリーダー養成事業（参加希望者なし） ・6/23 少年の主張檜山地区大会への派遣 3 人			
2 1	青少年教育③	青少年教育の健全育成	①生涯学習講座（青少年健全）の実施 ・7/12 薬物乱用防止教室 大成中学校 ・9/29 性教育 北檜山中学校	・町内中学校に対して計画的に事業展開ができた。 ・次年度も中学生を対象に進める。 ・今後も青少年に対して継続的な展開が必要である。	自己評価どおりで良い	A
2 2	成人教育	地域・団体への参画支援	①地域・団体への支援 ・2/21 教育・スポーツ・文化表彰 5 名・1 団体 ・6/25 檜山女性研修会派遣（今金町）3 名 ・8/3～9 夏休み体験講座（文化協会連携事業） ・8/28 民謡コンサート（芸術鑑賞実行会連携事業） ②多様な学習機会の提供 ・8/14 二十歳のつどいの挙行 41 人 ・2/25 若手交流会【中止】 ・大人の英会話教室（前期 16 回）20 人 ・大人の英会話教室（後期 13 回）21 人 ③家庭教育に関する支援や学習機会の提供 ・10/22 家庭教育講座「親子 de よりみち広場」62 人（うちボランティア 9 人）	・コロナ禍で活動が停滞していた団体の活動支援を進めることができた。また、家庭教育支援事業の拡充を進めることができた。 ・家庭教育支援事業のプログラム拡充により、参加者を増やすことができた。 ・コロナ禍で停滞した団体活動の再開支援を進める必要がある。	自己評価どおりで良い	B

2 3	高 齢 者 教 育	いきがいを高め る多様な学習機 会の充実	①各区高齢者大学の開設 ・北檜山いきがい学園 23 人 ・大成くおん大学 26 人 ・瀬棚寿大学 6 人 合計 55 人 ②世代間交流の提供 ・学校支援事業（高齢者大学）【中止】 ③自主的サークル活動への支援 ・切り絵、絵手紙、押し花、パークゴルフ等 23 人	・各区において活動を進めることができた。 ・ コロナ禍での感染対策に考慮し、入学式・修了式と両方挙 行することができた。また、日帰りの町外視察も３区合同 で行うことができた。 ・さまざまな活動を提供していく必要がある	自己評価どおりで良い	B
2 4	読 書 活 動 の推進	乳幼児から高齢 者まで読書に親 しめる環境づく り	①図書資料の充実 図＝図書購入（一般書・児童書・専門書等） 雑＝雑誌 新＝新聞 D＝DVD等 ・情報センター 図 336 冊 雑 154 冊 新 1 種 D0 本 ・大成図書館 図 306 冊 雑 120 冊 新 1 種 D0 本 ・生涯学習センター 図 321 冊 雑 148 冊 新 1 種 D2 本 ②各図書施設の相互連携による利便性の向上 ・図書館システムを活用した相互貸出サービ スの提供（年間約 700 件） ③子供の読書活動の積極的な推進 ・図書館 de カフェ 7/27 情報センター 8 人 1/21 生涯学習センター 17 人 ・くつろぎ図書館（毎週金曜日・大成図書館） ・おはなし広場（7月～3月・毎月第3土曜・情報センター） ・図書室映画会（生涯学習センター） 7/23・2 人、1/28・8 名 ・ブックフェスティバルの開催 7/21 北檜山小、7/14 久遠小、10/21 瀬棚小 ・各区における移動図書の実施 北檜山区/若小・北小・学童 大成区/大中、瀬棚区/三杉荘	・新たな「子どもの読書推進計画」を策定することができた。 ・せたな町子どもの読書推進計画に基づいた事業の実施がで きた。 ・コロナ禍ではあったが感染対策を講じて読み聞かせなどが 実施できた。 ・ 計画的に事業が実施できている。 ・令和 5 年度からの新たな「子どもの読書活動推進計画」を 策定したので、計画に基づいた事業展開の必要がある。	自己評価どおりで良い	A

			④学校図書室との連携 ・学校図書室支援員派遣 全 62 回 (北小 11、瀬小 12、久小 9、北中 13、瀬中 8、大中 9)			
2 5	芸術・文化 ①	芸術・文化に関する鑑賞機会の提供と内容の充実	①芸術鑑賞事業の実施 ・8/29 和心ブラザーズ民謡コンサート (対象：町内小学生) ②文化講演会事業の実施 ・10/24 講演：小島よしお氏 273 名 ③芸術鑑賞機会の提供【中止】 ・10 月下旬 ジョン神塚氏ピアノコンサート	・芸術・文化に関する鑑賞事業を計画的に実施することができた。 ・ 3 年ぶりに文化講演会を開催することができた。 ・ニーズに合わせた効果的な事業展開が必要である。	自己評価どおりで良い	A
2 6	芸術・文化 ②	文化団体の育成と自主活動の支援	①文化団体への支援 ・せたな町文化協会補助金 149,000 円 ・芸術鑑賞事業実行委員会補助金 386,550 円 8/28 和心ブラザーズ民謡コンサート ②町民文化祭実行委員会への支援 ・町民文化祭実行委員会補助金 318,820 円 ・町民文化祭 ※11/5～11/6 北檜山会場 延べ 424 人 瀬棚会場 延べ 207 人 大成会場 中止 (会場工事のため) ③団体と連携した事業の実施 ・1/10 新春書初め大会 10 人 ・町民ギャラリー開設 1 団体・2 回	・団体の要望に対して適切な支援ができた。 ・ コロナ禍で芸術鑑賞事業実行委員会事業が停滞していたが、活動の再開に対して支援を進めることができた。 ・今後も関係団体の継続的な支援を進める必要がある。	自己評価どおりで良い	B
2 7	芸術・文化 ③	文化財・郷土資料の保護・保存	①芸能団体への支援 ・郷土芸能団体連絡協議会補助金 200,000 円 ②郷土芸能伝承に係る指導業務 ・大成中学校の総合的な学習の時間での指導 (久遠神楽保存会)	・連絡協議会に加盟する各団体に対し活動支援が継続的に進められている。 ・大成中学校との協働で学校経営に位置づけた取り組みとして郷土芸能の伝承ができた。 ・ 今後も支援が必要である。 ・各団体において担い手の高齢化や減少が著しいため、新規伝承者の育成を進める必要がある。	自己評価どおりで良い	B

28	芸術・文化 ④	文化財・郷土資料の公開・活用	①郷土資料館等施設の活用 ・特別展示 ・6/17～8/21 「せたな発掘ものがたり～都遺跡編～」126名（生涯学習センター） ・10/18～11/23 「むかしのきたひやま」86名（情報センター） ・9/1～10/23 「せたなの動物-浮島公園編-」18名（大成郷土館） ・11月～2月 「おウチの秘蔵品展-参-」【出展希望なし・中止】 ②文化財を活用した各種事業の実施 ・考古学講座「How to 考古学」8/20・2名、8/21・1名、8/27・2名 ・自然史講座「せたなの動物たち」8/6・13名、8/11・13名 ・歴史講座 ・「むかしの道具に触れてみよう」8/4（参加者なし中止） ・「せたなの碑巡り-瀬棚編-」10/29・2名 ・「近現代におけるアイヌ史」2/11・2名、2/12・1名	・文化財等の保護については、文化財保護審議員と連携し適正な維持管理を行った。 ・特別展示では、小学生から一般町民に対し広く文化財保護の啓発・普及が図られた。 ・文化財を活用した講座を行い、文化財に関する学習機会の提供が図られた。 ・事業は計画的に実施できたが、参加者が少ないことから内容等の見直しを行う。 ・リピーター以外の方が参加しやすい講座内容を検討する必要がある。	自己評価どおりで良い	B
29	スポーツ ①	健康づくりや誰もが参加できる学習機会の提供	①体系的なスポーツ活動の展開・各種スポーツ教室の開催 ・5～11月 キッズ運動教室 延べ112人 ・7/19,10/13,10/18 訪問キッズ体操教室 延べ67人 ・中止 シニア向け認知症予防運動教室 ・7/9 レバンガ北海道バスケット教室 27人 ・7/26～27 初心者水泳教室 延べ46人 ・7/27 幼児水泳教室 6人 ・8月 北翔大学水泳教室 中止 ・8/1 深川サッカー教室 23人 ・9/11 コンパレーバドミントン教室 15人 ・9/16 一般向け水中歩行教室 4人 ・12/10 ファイターズ野球教室 24人	・各教室とも、専門知識の習得や運動の基礎、実践を学習する機会として大いに活用されており、競技力向上や基礎体力向上の促進につながっている。 ・コロナウイルスの影響等で中止した事業もあったが、おおむね計画的に実施できた。 ・実施することができなかった事業（北翔大学生水泳教室等）について、再度内容を検討する必要がある。（講師の再検討）	自己評価どおりで良い	B

		・1/14 サッカー教室 20人 ・1/11～16 初心者スキー教室（丹羽）17人 ・7/28, 1/20 健活ヨガ教室 延べ56人 ・1/24～2/22 初心者スキー教室（大成）17人 ・2/18 キッズトランポリン教室 37人 ・2/14 トレーニング講座 10人 ②ニュースポーツ・軽スポーツの推進 ・11/21 カローリング体験会 11人 ・3/15 モルック体験会 28人 ③海洋スポーツの推進 ・水に賢い子どもを育む年間型プログラム事業 【北檜山小学校 4年生 29人】 6/15 オリエンテーション 7/4 川の水質調査（真駒内川） 8/26 カヌー体験 7/19 着衣泳 9/27 魚の水揚げ場見学（鵜泊漁港） 11/15 木育 12/15 学習発表会 【瀬棚小学校 3～4年生 14人】 6/15 オリエンテーション 6/16 川の自然観察（馬場川） 6/24 ヒラメ生態学習 7/11 着衣泳 7/13 カヌー体験（中止） 8/25 森の自然観察 10/20 ヒラメ標識付・放流 瀬棚港 11/1 ヒラメ試食体験 3/7 学習発表会 ・北海道スポーツ交流交歓会 「水上の部」練習指導者派遣 中止 ・カヌー体験教室 7/18・9人, 8/21 悪天候中止 ・カヌーで川下り体験 9/2・7人			
--	--	--	--	--	--

